

受入団体名:みんなのほっとルーム

募集人数

プロジェクト/団体プログラム名:
そだちっこプロジェクト

1~5名

<活動期間:2025年10月1日~2026年1月8日 活動日数:8日程度>

<活動日or 活動パターン>

☒週1日程度・定例、☐月1~2回・不定期 ☐その他

<主な活動場所>

みんなのほっとルーム
(最寄駅・バス停など:)

<活動の流れ>

日時	活動内容
10月	月水(14:30~16:30)に行われるそだちっこクラブでお手伝いをしながら11月、12月の動きを考える
11月	月水(14:30~16:30)に行われるそだちっこクラブでお手伝いと、自分たちがやりたいことがあれば、学生プログラムを企画等
12月	月水(14:30~16:30)に行われるそだちっこクラブでお手伝いと、自分たちがやりたいことがあれば、学生プログラムを実施、リフレクション

<キャンパスからの交通手段>

自転車・徒歩
<活動に必要な費用>

<参加の姿勢>

子ども達の未来をワクワクしながら活動する

<活動日の流れ>

14時半 ほっとルーム着、打ち合わせや準備
15時 そだちっこクラブスタート
16時 そだちっこクラブ終了
16時半 かたづけ、反省会、解散

<コミュニケーションの手段>

☐電子メール
☒LINE ☐電話
☐その他()

<活動のテーマと主な内容>

子ども達の生きる土台を作るのために 自分が伝えたい事を楽しく伝え、子ども達から学ぶ

生きていくうえで、物事に興味関心を持ち、自分の意見や想いを安心して口に出す。親や学校の先生だけでなく多世代の人と関わる。自分で考え行動する。やりたいと思った時にできる。これらができるようになれば、学校だけでなくどんなことにも受け身ではなく主体的に行動し成長できるようになると考えています。

小学校に入学すると習い事等で忙しくなる子ども達が増え、親と一緒に行動する子も少なくなります。よって、年長児の年齢(5-6才)の就学前1年が子ども達にとってとても大切な時期になると考えそだちっこくらぶが出来ました。2024年4月よりスタートしています。メンバーは、かふえいちばん星オーナーの星のぞみさん、里山の保全活動等をされている木村しんいちさん、ファイナンシャルプランナーの安司まさやさん、現役高校生で美塾に通う前田綺音さんみんなのほっとルーム代表前田がリーダーとなってそれぞれが子ども達に伝えたい事を教室として活動しています。教室の時間は1時間。学生さん達にはそだちっこくらぶに参加していただき、生きる土台とは何か、自分達が思う生きる土台とはないかを考えていただき、自分たちの伝えたい事を1つの教室として開催し、子ども達に伝えていただきたいです。

<活動する現場で学生が求められる背景(理由)>

サポートに関しては、こちらから一方的に与える物ではなく、環境作りを意識し、自分にできる事、子どもとの関わり方について子ども達と関わりながら学んでいただきたいです。教室開催に置いてはご自身の子どもを思い出し、子どもにやってみたかったこと、興味関心があり無心になって取り組めたこと、今思えばあの時やっておけばよかったと思う事をお話しいただき、今の子ども達に生きる土台として伝えたい事を教室の内容にしていけたらと思います。

<学生が期待できる学び>

子ども達との関わりや、教室参加により、自分自身の生きる土台とは何か、個性を大切にするととは何か、これからの子ども達に伝えていきたい事や環境づくりの大切さを学ぶことができる。

5-6歳の子どもとその親と関わることで今の子どもの現状を知ることができる
親子との関わり方、声のかけ方のコツなど学べる

＜活動紹介1＞

主催:みんなのほっとルーム

そだちっこくらぶ



って何？

ちょっと今までにない
年長児さん限定の
放課後くらぶ



**就学前に身につけたい
考える《芽》を伸ばす
生きる力の土台づくり**



子どもを真ん中に



関わる全ての人で作っていく



立ち上げの経緯



コロナ禍で人や物に関わる機会が減り
これまで「孤育て」は問題視されてきましたが
「孤育ち」も目に見えてきた昨今

「子どもの個性を伸ばす」「ほめて伸ばす子育て」
「叱らない子育て」は
絶賛流行中ですが、人や物に関わることができない期間を経て

「個性」「ほめる・叱る」「伸ばす」の方向性が大きくずれ始めていると感じることが多くあります。

親が子どもに求める「個性を生かした生き方」
現状週の多くは塾に通い自由に時間をかけて遊ぶ時間も少なく
自然に触れる事や個性を伸ばすことは
保育園や幼稚園教育にお任せの部分も多くみられます。

立ち上げの経緯



せっかく幼児教育で育まれてきた「個性」も
小学校教育に移行するとやはり伸び悩んでいるようです。

学校教育がすべてではなく、基本は家庭教育が個性を生かすために「生きる力を育む」事がその土台になるのではないのでしょうか。

そしてその土台作りは
多くの大人や子ども達が関わることで育まれる

そだちっこくらは幼児期に「生きる力を育む」ここに大きな可能性を感じ立ち上げる事になりました。

家庭、教育、地域が子ども達と共に生きる力を育む
環境づくりができる事を願っております。

参加方法

- ①カレンダーの中から
1〜5コマの教室を選びます
※必ずお子さんと決めてください
- ②申し込みフォームで申し込む
※定員はその日によって異なります
- ③申し込みの日開始10分前には
みんなのほっとルームに
集合！※14:45開場
- ④後は楽しむだけ♪
- ⑤みんなで片付けを終わります



2024年4月							
日	月	火	水	木	金	土	
31	1	2	3	4	5	6	
			ごっこ遊び ボードゲーム				
	休み						
	担当:まえた		あんし				
7	8	9	10	11	12	13	
	身投げ なんだろう?		お走って何?				
	担当:まえた		担当:あんし				
14	15	16	17	18	19	20	
	竹あそび		ままきり アンパンマン				
	担当:きむら		担当:きそ				
21	22	23	24	25	26	27	
	ごっこ遊び ボードゲーム		命の危機 自分を守る 食育のかみ切り				
	担当:まえた		担当:おしま				
28	29	30	1	2	3	4	
	竹あそび						
	担当:きむら						

<活動紹介2>

そだちっこくらぶ

2025年 リーダー紹介



リーダー紹介

まえだまり

「子ども達が生きやすい社会をつくる」を、モットーに大人も子どもも育ち合える環境づくりを目指します

そだちっこでは子ども達が、自分を知り他人を知る楽しさを見発見できる時間を作ります

5人の子供と2人の孫16年間の専業主婦時代は今の活動の下積みでした自分ストーリーが人の役にたつからこそ、子どもも大人も自分を生きてほしいと思います

そだちっこくらぶ代表

リーダー紹介

あんしまさや

子ども達が将来お金のことで困らない社会を作りたいお金は「人生の可能性を広げるために大切なモノ」

そだちっこでは学校では教えられない「お金」のしくみを楽しみながら伝えます

12歳で両親と死別。その後、お金のことで苦労したこと選に人生を救ってもらった経験を自分だからこそお伝えできることが必ずあると信じて縁ある人に貢献できるよう活動しております。

キッズマネー講師
ファイナンシャル
プランナー

リーダー紹介

きむらしんのすけ

いばきた生まれいばきた育ち3人の子育て真っ最中地域を育てる人を地域で育てる「面白き事もなき世を築く」

そだちっこでは自分の自由な発想や何かを創り出す創造性がスゴイ！ということをお伝えします

褒められポイントをたくさんつくって親子のコミュニケーションが円滑になる取り組みをします

山のお兄さん

そだちっこくらぶ 5月21日
(レイアウト)



そだちっこくらぶ
山あそび
2025.05.19

そだちっこくらぶ 2日前
III Black Box・Money



2025.06.11
そだちっこくらぶ
ボードゲーム

リーダー紹介

ほし のぞみ

幼少期から食事には厳しく育てられましたおかげで今では好き嫌いは全くありません

そだちっこではお菓子作りの楽しさや食事の大切さを伝えていきたいです

苦手な食べ物でも楽しく食べられる、作ることの大きさも楽しさも知ってもらえるような活動をしたいです

いちばんほしかフェ
オーナー

リーダー紹介

まえだ あやね

まだまだ修行の身ではありますが自分なりに子ども達と関わっていきたくと思います！

そだちっこでは「自己表現の楽しさ」「他者の表現に触れる面白さ」を創作を通して伝えます

そだちっこくらぶでの時間が芸術や創作が好きになるきっかけになれば嬉しいです

現役高校生
画塾生

初めてのノコギリ




今日もたくさん買ってたくさん売りました
感謝を待つ
何を作るか考える
スロットを回して
楽しんで、お金を稼ぐ
今はこの一連の流れを楽しんでいます

2025.06.11
そだちっこくらぶ
ボードゲーム

←2025年度の活動の様子